

「線維性過敏性肺炎と膠原病合併に関する研究」

(作製日 2022 年 6 月 13 日、第 1.1 版)

当院では、標記研究を実施しております。

間質性肺疾患（間質性肺炎や肺線維症）には多くの疾患が含まれますが、診断は必ずしも容易ではありません。特に、原因不明とされる特発性間質性肺炎、特発性肺線維症の診断時にはかならず、過敏性肺炎、膠原病の可能性を考慮しなければなりません。また後で膠原病が明らかになってくる場合もあります。本研究会では、病理診断で線維性過敏性肺炎（慢性 HP）と診断され、診断時に膠原病を合併していた、あるいは、過敏性肺炎の診断後に膠原病が明らかになった患者様の検査データを多施設で検討させていただきます。

1. 研究目的：多施設から肺の生検（外科的肺生検、凍結肺生検）で線維性過敏性肺炎（慢性過敏性肺炎）と診断され、膠原病合併症、あるいは後で膠原病を認めた患者様の症例の、臨床データ、レントゲンと CT、病理を検討させていただき、今後の診断、診療の参考にさせていただきます。
2. 研究対象と共同研究施設：対象は外科的肺生検、凍結肺生検にて過敏性肺炎と診断され、診断後に膠原病が明らかになった、あるいは診断時に、膠原病が合併していた患者様（合計 10 例前後）。2022 年 6 月時点で患者様のデータの提示にご協力いただける参加研究施設は、近畿中央呼吸器センター、神奈川県立循環器呼吸器病センター、公立陶生病院、神戸市立医療センター西市民病院、東京医科歯科大学です。
3. 方法：集積した臨床データ、CT、病理検査のデータを解析し、2022 年 8 月 28 日に呼吸器内科、放射線科、病理、膠原病内科の専門家が参加し、検討会（ワークショップ）を開催し患者様の資料の詳しい検討を行います。意義のある結果が得られた場合、学会、論文で発表させていただきます予定です。
4. 個人情報の取り扱いと集積したデータの保存：個人情報、資料（臨床情報など）は全て匿名化しデジタルデータ化し、NHO 近畿中央呼吸器センターにて保存いたします。研究目的以外に資料は用いません。
5. 研究期間：研究許可日から 2025 年 3 月 31 日まで（解析期間を含む）。研究会は 2022 年 8 月 28 日に開催。

ご不明な点がございましたら下記へお問い合わせ下さい。尚、この研究は国立病院機構近畿中央呼吸器センターの臨床試験審査委員会で承認を受けた研究です。研究対象になることを望まれない患者様は研究代表者、各施設の研究担当者までご連絡ください。

研究代表者：国立病院機構近畿中央呼吸器センター臨床研究センター井上義一
施設研究責任者 神戸市立医療センター西市民病院 呼吸器内科 富岡 洋海
問い合わせ先 TEL 072-252-3021（代表）